

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・言葉Ⅰ	演習	1	田中 麻紀子
【授業のテーマ及び到達目標】 子どもの言葉の発達過程を理解し、保育者のかかわりを考える。また、事例研究を通して、保育現場での援助や指導を具体的にイメージできるようにする。手遊び・わらべ歌・絵本の読み聞かせの実践を行い、自分のものとして役立てられるようにする。			
【授業の概要】 子どもの言葉の発達過程と保育者の援助の実際を事例や参考資料を通して学ぶ。またグループワークでは、保育現場で実際に起こる事例に対しての言葉がけを考え、その背景にある保育者の思いや援助についてのイメージが持てるようにする。手遊び・わらべ歌の実践もグループワークで行い、実習や保育現場で活かせるよう身につけていく。「絵本の読み聞かせ」の実践は、一人ひとり全員が行う。また、1回目の実践を生かし、再度読み聞かせを行う。			
【全体の授業計画・内容】			
1. オリエンテーション・自己紹介を考える			
2. 領域「言葉」のねらいと内容			
3. 言葉をめぐるワークショップ			
4. 乳幼児期の言葉の特性・言葉の育つ道筋			
5. 人とつながる言葉(信頼関係から生み出される言葉)			
6. 絵本の読み聞かせ(教材研究・指導案作成)			
7. 年齢に応じた絵本探し			
8. 絵本の読み聞かせ(実践・第1グループ)			
9. 絵本の読み聞かせ(実践・第2グループ)			
10. 絵本の読み聞かせ(実践・第3グループ)			
11. 言葉を育む文化財・遊び(手遊び・わらべ歌)			
12. 手遊び実践発表(グループワーク)			
13. わらべ歌実践発表(グループワーク)			
14. 言葉の育ちと保育			
15. まとめ・ふりかえり(絵本の読み聞かせグループワーク)			
【準備学習の内容】			
予習のあり方:絵本等、言葉に関連するものに興味を持ち、読んでみるなどする。			
学習のあり方:実践・グループワークには積極的に参加し、役立てるよう身につける。			
復習のあり方:授業で学んだことを、自宅で再確認する。			
【成績評価】			
提出物(20%)、実践発表(50%)、授業態度(30%)により総合的に評価する。			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
読み聞かせ等の実践に対してコメントをする。			
【テキスト】			
特に使用せず、授業内に資料を配布する。			
【参考文献】			
「幼稚園教育要領解説書」文部科学省、「保育所保育指針解説書」厚生労働省			